



おきたま病院

第 1 号

病院理念 心かよう信頼と安心の病院



▲公立置賜総合病院の全景（撮影：豊野 充 副院長）

目次

医療監（総合病院長）あいさつ	①
病院利用のご案内	②
病院の上手な利用の仕方！	③
医療相談・医療福祉相談・退院支援のご案内	③
救命救急センターの利用について	④
公立置賜総合病院の医師紹介（H22.6.1 現在）	⑤
外来診療体制（H22.6.1 現在）	⑥
休日診療所を利用しましょう 他	⑦

～ 各種指定等 ～

- ◆ 救命救急センター
- ◆ 地域がん診療連携拠点病院
- ◆ 災害拠点病院
- ◆ 第二種感染症指定医療機関
- ◆ へき地医療拠点病院
- ◆ 臨床研修指定病院
- ◆ SARS 入院治療指定病院



地域医療機関相互の 緊密な連携を目指して

置賜広域病院組合 医療監
(兼) 公立置賜総合病院 院長

しん ざわ はる ひで
新 澤 陽 英

公立置賜総合病院は今年の11月で設立10年となります。この節目の年に当たり、当院を地域の皆様方に良く知っていただくとともに、地域の皆様方に満足していただける病院づくりを目指して、広報誌を発行することとしました。

まず、当院について簡単に紹介致します。当院は山形県では2ヶ所しかない救命救急センターのうちの1つを併設した病院であり、置賜地区ではただ一つの地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院でもあります。

当院は、高度で専門的な急性期医療に対応した病院です。例えば、発症後直ちに治療が必要な心筋梗塞になっても山形大学病院や県立中央病院に行かなくとも当院の救命救急センターで対処することができますし、脳出血でも経験豊富な脳外科医が3人体制で高度な治療に当たっております。また、がん治療も専門家を揃えて胃がんや大腸がん、乳がんを始めとしたがん治療に積極的に取り組んでおります。

特に、肝臓がんのラジオ波治療の施術数は東北でもトップクラスとなっています。また、置賜地区でがんの放射線治療は当院でしか行っておりませんし、今年の4月からは日本でも有数の眼の腫瘍(がん)専門の眼科医が着任するなど、当院は主に入院治療が必要な患者さんを対象とした高度で専門的な医療を提供している県内でも有数の病院の一つです。

最近では全国的に医師の過重労働が問題となっており、医師が次々と病院を去り、医師不足のため病院を縮小したり閉鎖したりしている例がありますが、当院でも、専門医を揃え、救命救急医療体制を敷いているものの、必ずしも専門医の診療を要さない患者さんが多数来院し医師が外来診療に追われたり、必ずしも急を要さない患者さんが深夜に救命救急センターに来院され、当直医が睡眠を充分取れないまま、翌日の診療に従事する場合もあるなど、医師やスタッフの過重労働は心配の種であります。

地域の皆さんが入院治療を必要としたとき、特に高度で専門的な医療を必要としたとき、当院が皆さんの期待に十分に答えられるようにするためには、地域医療機関、地域医師会の先生方、いわゆる「かかりつけ医」の先生方と連携した医療の提供ができるようにすることが肝要と考えております。

具体的には、救急車で来院を要するような急病になったときは別として、普段の体調管理は地域の「かかりつけ医」を受診のうえ適切な治療等をしていただき、当院での診療が必要な場合には紹介によりお出でいただくようにすることで、医師が余裕を持って高度で専門的な医療の提供ができるようになり、地域の方々の期待に応え、地域の方々が満足していただけることとなります。私は、これが「地域で医療を育てること」であり、このことを通じて当院の基本理念である「心かよう信頼と安心の医療」が実践できるものと確信しております。

医師が過重労働で疲弊した状態になってしまえば、最新の医療設備が揃っていたとしても、高度で専門的な医療を行うことはできません。地域の皆様のご理解があってはじめて、皆さんが当院に期待される医療、皆さんの満足できる医療が実現可能となるものと考えております。

公立置賜総合病院は、地域の方々のために設立された病院です。地域の皆様方のご支援、ご協力をいただきながら、より良い病院にして行く所存であることをお誓い申し上げ、広報誌発刊に当たっての巻頭の言葉とさせていただきます。

病院利用のご案内

1. 外来受付時間について

- ①初診受付は、午前8時30分～午前11時30分
- ②予約されている方は、自動再来受付機で受付を行ってください。
- ③土、日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は休診となります。

2. 外来診療時間について

- ①一般診療は原則として午前のみとなります。
- ②午後は再来の予約外来または特殊外来となります。
- ③外来診療体制（平成22年6月1日現在）については、P6をご覧ください。



自動再来受付機

3. 予約について

- ①診察の最後に医師が「次回診察」の予約をお取りします。予約票は会計窓口で診療費の領収書とともにお渡しします。
- ②予約票の予約時間は、30分枠のはじめの時間です。なお、30分枠には数名の患者さんの予約が入っておりますので、多少の待ち時間が生じますことについてご理解とご協力をお願いします。

4. 会計と保険証確認について

- ①住所や電話番号がお変わりになった場合はお知らせください。
- ②保険証・公費医療証などを、毎回確認させていただいております。

5. 診察カードについて

- ①総合病院だけでなくサテライト医療施設（公立置賜長井病院・公立置賜南陽病院・公立置賜川西診療所）及び飯豊町国民健康保険診療所と共通で使用できますので、大切に取り扱いってください。
- ②もし、紛失した場合は再発行できますのでカウンター「1受付」にお申し出ください。なお、再発行手数料として110円をご負担していただけます。



6. 面会について

- ①面会時間は午後1時から午後8時までです。患者さんの安静のため、時間内に短時間で済ませてください。時間外の面会は診療上好ましくありませんので、ご遠慮くださるようお願いいたします。
- ②面会の方からの感染防止のため、風邪をひかれている方や、お子さん連れでは面会をご遠慮ください。
- ③面会の際は、他の患者さんに迷惑がかからないようご配慮くださるようお願いいたします。

公立置賜総合病院 事務部 医事情報課

Tel 0238-46-5000（内線1436）

●● 公立置賜総合病院の上手な利用の仕方！ ●●

◆◆◆ 公立置賜総合病院では、紹介状持参による受診をお願いしております ◆◆◆

Point 1 かかりつけ医を持ちましょう

かかりつけ医とは、私たちの身近にいて、日頃から健康相談をしたり、病気になったときは初期の医療を行う医師をいいます。病院にかかったら長時間待たされた。あげくに診察がわずかな時間だったということはよく聞きます。そのため、まず、かかりつけ医に受診することにより、比較的早く診察を受けることが出来ます。



Point 2 紹介状をお持ちください



かかりつけ医からの紹介状をお持ちいただきますと、今までの治療経過を活かして当院の診察がスムーズに行えます。また、かかりつけ医からあらかじめ連絡をいただき来院日の調整をすることにより、当日はお待たせすることなく、受診される診療科へご案内することが可能となります。

紹介をいただき、病院での検査や治療が終了したら、今度は病院からかかりつけ医に治療経過を報告し、その後のかかりつけ医での治療に役立てます。

このように紹介状がかかりつけ医と病院との架け橋となり、より適切な医療を受けられるようになります。

なお、紹介状を持参せず来院された場合は、「非紹介患者初診加算料」として1,570円（消費税込み）を患者さんにご負担いただいております。

Point 3 お近くの医院をご紹介します

当院での治療が終了して病状が安定しましたら、患者さんのご希望もお伺いした上で、お住まいの近くのサテライト医療施設や診療所等（かかりつけ医）をご紹介します。患者さんは、慣れ親しんだ先生のもとで治療や経過観察が受けられます。当院の専門医と「かかりつけ医」の先生が連携することにより、必要に応じて定期的な検査等のため当院を受診して頂くこともございます。

ご不明な点がございましたら、いつでも遠慮なくご連絡ください。

●● 医療相談・医療福祉相談・退院支援のご案内 ●●

当院に通院・入院されている患者さんやそのご家族の悩み事や心配事の相談をお受けしています。専門の相談員や看護師がお互いに協力して、患者さんやそのご家族が、安心して治療に専念できるよう、また退院できるよう、一緒に問題解決に向けお手伝いいたします。お気軽にご相談ください。

☆退院や転院・施設入所に係るご相談、医療費・生活費などのご相談、障害年金・社会保障についてのご相談、介護保険関連のご相談、医療に係るご相談、相談先が分からない困りごとなど

自分の体や家庭のことなど、打ち明けたり相談することには抵抗があるかもしれませんが、ご相談いただいた個人的な内容が外に漏れることは一切ありません。安心して下記担当までお尋ねください。

担当：公立置賜総合病院 相談支援センター（医療連携・相談室）
Tel. 0238-46-5000（内線 1409, 1410, 1902, 1426）
受付時間：午前9時～午後4時（土・日曜日、祝祭日、年末年始除く）
その他：相談料は無料です。

救命救急センターの利用について

【救命救急センターの目的】

救命救急センターは公立置賜総合病院に併設され、開院以来多くの患者さんの治療を受け持ってまいりました。

主に生命に直接危険を及ぼすような重症外傷、心臓疾患、脳血管障害、急性中毒など急を要する傷病者を専門に治療する部門です。重症外傷とは、交通事故や高所からの転落、刃物などで受傷した頭、頸、胸、腹、骨盤、大腿部の損傷で、緊急な手術や処置治療が必要な外傷です。また、急性心筋梗塞や心不全、脳出血や脳梗塞、呼吸不全、ショック状態のような瀕死の重症患者が対象となり、いかに救命するかが救命救急センターの使命です。

【救命救急センターの現状】

救命救急センター外来では、下表のとおり年間延べ2万人を超える多くの患者さんの利用がありますが、約85%を1次救急患者が占めており、本来の目的である救命医療の支障となることが危惧されております。

特に、夜間・休日は、内科系医師と外科系医師が交替で宿日直業務に当たっておりますが、医師の過重労働が課題となっております。

救命救急センター患者数（直近3年間）

単位：人

年度	患者総数	内救急車搬送数	内1次救急患者数	内入院患者数
19年度	22,359	3,125	18,997	3,362
20年度	20,725	3,010	17,420	3,305
21年度	21,535	3,118	18,114	3,421

※1次救急患者数とは、入院治療の必要がなく救急外来で対処し、帰宅可能な患者をいいます。風邪など。

【待ち時間】

救命救急センターでは、救急車で搬送される重症な患者さんも多く、また救急車の受入れが重なることもしばしばです。重症な患者さんに対しては、医師をはじめスタッフが長時間かかりきりになり、このようなときには、看護師が症状を確認の上、長時間お待ちいただくこともあります。

救命救急センターの本来の目的をご理解いただき、可能な限り、かかりつけ医や近くの医院の受診へのご協力をお願いいたします。



【休日診療所の利用】

休日には、地域の医師会で行なっている休日診療所が開設されています。休日診療所は、救命救急センターと比較して待ち時間も短く診察を受けることができることや、地域の医師同士の連携が取れているなどの利点もあり、上手にご利用いただきたいと思います。（詳しくは、P7をご覧ください）

【平日夜間協働診療について】

救命救急センターにおける平日夜間救急診療の一層の充実と当院に勤務する医師の負担軽減を図るため、平成21年4月より南陽市東置賜郡医師会と長井市西置賜郡医師会の開業医の先生方にご協力をいただき、救命救急センター平日夜間の応援診療が開始されました。

○診療時間帯 平日の午後7時から午後10時までの3時間

○応援医師 南陽市東置賜郡医師会23名、長井市西置賜郡医師会11名 計34名

医師紹介

皆さまを診療する 当院の医師を紹介します

☆詳しくは、当院ホームページの
「診療科・部門のご案内」⇒
「診療科」をご覧ください。

平成22年6月1日現在

診療科・職名	氏名
院長	新澤陽英
副院長(兼)人間ドック室長	豊野充
副院長(兼)輸血部長(兼)医療安全部長(兼)内科(血液)科長	佐藤伸二
副院長(兼)医療情報部長	薄場修
診療部長(内科系一)(兼)教育研修部長	鵜飼克明
内科(消化器)科長(兼)内視鏡室長	渡辺晋一郎
内科(消化器)医長	武田忠
内科(消化器)医長	大村清成
内科(消化器)医長	安藤嘉章
内科(消化器)医長	柄澤哲
内科(消化器)医長	松田剛
内科(消化器)医師	勝見智大
内科(消化器)医師	秋葉昭多郎
内科(呼吸器)科長	稲毛稔
内科(呼吸器)医長	荒生剛
内科(呼吸器)医長	片桐祐司
内科(呼吸器)医師	福崎幸治
循環器科科長	角田裕一
循環器科医長	山内聡
循環器科医師	北原辰郎
循環器科医師	加藤重彦
循環器科医師	山浦玄斎
精神科科長	赤羽隆樹
精神科医長	鈴木春芳
精神科医師	山崎猛
小児科科長	仁科正裕
小児科医長	木島一己
小児科医師	大通尚
小児科医師	枝松秀尚
診療部長(内科系二)(兼)内科(糖尿病・内分泌)科長	江口英行
内科(糖尿病・内分泌)医師	多田杏子
内科(血液)医長	山本雅一
内科(血液)医師	軽部宏紀
内科(腎臓・透析)医長(兼)人工透析室長	高橋俊之
内科(腎臓・透析)医師	星川仁人
内科(腎臓・透析)医師	新野弘樹
診療部長(外科系一)	小澤孝一郎
外科(一)科長	橋本敏夫
外科(二)科長	東敬之
外科医長	長谷川繁生
外科医長	木村真五
外科医師	横山森良

診療科・職名	氏名
外科医師	佐藤多未笑
外科医師	林潤
手術部長(兼)心臓血管外科科長	後藤智司
心臓血管外科医師	皆川忠徳
医療連携部長(兼)呼吸器外科科長	山田昌弘
麻酔科科長	山口勝也
麻酔科医長	鈴木香織
麻酔科医長	那須郁子
放射線科科長	伊東一志
放射線科医師	桐井一邦
診療部長(外科系二)(兼)放射線部長(兼)脳神経外科科長	金城利彦
脳神経外科医長	土谷大輔
脳神経外科医師	渡辺茂樹
耳鼻咽喉科科長	櫻井真一
耳鼻咽喉科医長	大竹祐輔
耳鼻咽喉科医長	齊藤史明
歯科口腔外科科長	安川和夫
歯科口腔外科歯科医長	山森郁
歯科口腔外科歯科医師	平幸雄
診療部長(外科系三)	高村浩
眼科科長	上領勝
眼科医長	高橋知美
眼科医師	難波広幸
診療部長(外科系四)泌尿器科科長	久保田洋子
泌尿器科医長	武藤明紀
診療部長(外科系五)	沼崎政良
診療部長(中央診療系)産婦人科科長	手塚尚広
産婦人科医長	高木潤一
産婦人科医師	松村創平
診療部長(外科系六)(兼)リハビリテーション部長	林雅弘
整形外科科長	後藤文昭
整形外科医長	大楽勝之
整形外科医長	松木宏史
整形外科医長	長谷川浩士
整形外科医長	田中賢
整形外科医師	江藤淳
整形外科医師	根本信仁
臨床検査部長	布山繁美
救命救急センター長	岩谷昭美
救命救急副センター長(兼)集中治療室長	佐藤光弥
救命救急センター医師	木村相樹
	計83名

外来診療体制

下表は、6月1日現在の外来診療体制であり、医師の人事異動等により変更となります。
 当院ホームページの「外来・入院等のご案内」⇒「外来担当医師一覧」をご確認ください。
 公立置賜総合病院ホームページ URL ⇒ <http://www.okitama-hp.or.jp/>

【公立置賜総合病院】

平成22年6月1日現在

		月	火	水	木	金
内科	午前	① 加藤（循環器）	角田（循環器）	秋葉（消化器）	北原（循環器）	山内（循環器）
		② 江口（糖尿病・内分泌）	稲毛（呼吸器）	江口（糖尿病・内分泌）	福崎（呼吸器）	軽部（血液）
		③ 片桐（呼吸器）	勝見（消化器）	鵜飼（消化器）	鵜飼（消化器）	松田（消化器）
		④ 安藤（消化器）	渡辺晋（消化器）	大村（消化器）	新澤（消化器）	柄澤（消化器）
		⑤ 新患（消化器）	新患（消化器）	新患（循環器）	新患（血液）	新患（呼吸器）
		⑥ 山本（血液）	佐藤（血液）	高橋（CAPD）	山大（神経）	高橋（腎臓）
小児科	午前	① 仁科	枝松	仁科	大通（月1回早坂教授）	仁科
		② 木島	木島	大通	木島	枝松
		③				
精神科	午前	① 鈴木（再来）	赤羽（再来）	鈴木（再来）	赤羽/鈴木（再来）（隔週）	赤羽（再来）
		② 山崎（新患）	鈴木（新患）	赤羽（新患）	山崎（新患）	鈴木（新患）
整形外科	午前	① 田中（膝関節）	大楽	根本	田中	江藤
		② 長谷川	松木（膝関節）	長谷川（脊椎）	大楽（股関節）	松木
		③ 林	後藤	林	林（脊椎）	後藤（脊椎）
共同診察室	午前	①		県立総合療育訓練センター 佐藤哲也（股関節）		
外科	午前	① 橋本	小澤	橋本	東	薄場
		② 薄場	横山	豊野	小澤	豊野
		③ 木村	山田（呼吸器外科）	東		長谷川
	午後	③				山田（呼吸器外科）
心血管外科	午前	③	後藤（再来）（共同診察室）		後藤（再来）	
		③	後藤（再来）（共同診察室）		後藤（再来）	
	午後	②	皆川（新患）		皆川（新患）	
脳神経外科	午前	① 金城	金城	金城	金城	金城
		② 土谷	土谷	土谷	土谷	渡辺
	午後	①				金城
産婦人科	午前	① 高木	松村	高木	松村	松村・沼崎
		② 手塚（婦人科）	沼崎（婦人科）	手塚（婦人科）	沼崎（婦人科）	高木（婦人科）
		③ 沼崎（産科）	手塚（産科）	沼崎（産科）	高木（産科）	手塚（産科）
眼科	午前	高村・上領・高橋	高村・高橋	高村・上領・難波	上領・難波	高村・高橋・難波
耳鼻咽喉科	午前	① 櫻井	櫻井	齊藤	大竹	櫻井
		②				
		③ 齊藤	大竹	大竹	櫻井	齊藤
皮膚科	午前	① 山大 紺野 隆之	山大 松永 純	山大 阿部 優子（10:15～）		山大 宮地 千尋
		②				山大 紺野 恵理子
	午後	②			地方共済山形 小川	
泌尿器科	午前	① 恩村	山大	恩村	山大	
		② 武藤	久保田	武藤	久保田	（米沢）斎藤医院 國井
歯科口腔外科	午前	① 安川（新患・再来）	安川（新患・再来）	安川（新患・再来）	安川（新患・再来）	安川（新患・再来）
		② 山森（新患・再来）	山森（新患・再来）	山森（新患・再来）	山森（新患・再来）	山森（新患・再来）
		③ 平（新患・再来）	平（新患・再来）	平（新患・再来）	平（新患・再来）	平（新患・再来）
麻酔科	午前	山口/鈴木/那須		山口/鈴木/那須		
緩和ケア外来	午前					那須（共同診察室）

※「山大」とは、山形大学医学部からの応援医師です。

休日診療所を利用しましょう

南陽東置賜休日診療所

- 診療日 / 日曜日・祝日
 - 診療時間 / 午前9時から午後5時まで
 - 診療科目 / 主に内科、小児科
- ※受診の際は、必ず保険証をご持参ください。
- 南陽市栲塚 420-7 / Tel 0238-40-3456



長井西置賜休日診療所

- 診療日 / 日曜日・祝日
 - 診療時間 / 午前9時から午後5時まで
 - 診療科目 / 内科、小児科、外科
- ※受診の際は、必ず保険証をご持参ください。
- 長井市保健センター内 / Tel 0238-84-5799



【小児救急電話相談事業について】

県では、お子さんの発熱・下痢等の急病の際に、小児科医の支援体制のもとに専門的な知識と経験を有する看護師が、医療機関への受診や家庭での対処方法についてアドバイスを行うことにより、保護者の皆様に安心して育児を行っていただくことを目的として、「山形県小児救急電話相談事業」を実施しております。

- ☆相談時間 毎日 19時から22時まで (3時間)
 右記の番号におかけください⇒ **#8000**
 ダイヤル回線・PHSからは⇒ 023-633-0299

主な相談内容

- ・子どもの発熱についての相談
- ・子どもの嘔吐や下痢等についての相談
- ・その他子どもの急な病気についての相談 等

公立置賜総合病院敷地内禁煙の実施について

来院者の健康保持及び受動喫煙防止のため、4月1日より駐車場を含む病院敷地内全てが禁煙区域となりました。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



禁煙外来ははじめました！

当院では、「ニコチン依存症」に対する禁煙治療を実施しています。
 問い合わせ先：医事情報課 Tel 0238-46-5000 (代) 内線 1436

看護スタッフ募集中！

当院では、看護師・准看護師を募集しております。勤務形態については、ご相談に応じます。

詳しくは下記まで

事務部 総務企画課
 職員担当
 Tel 0238-46-5000 (代)
 内線 **2125**

